



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月8日

上場会社名 日本山村硝子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5210 URL <http://www.yamamura.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 山村 幸治
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐貴 正義 TEL 06-4300-6000
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	18,126	0.8	947	10.0	1,195	19.5	667	△15.1
29年3月期第1四半期	17,988	△1.2	861	192.7	1,000	103.6	786	167.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △513百万円 (-%) 29年3月期第1四半期 △246百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	6.36	—
29年3月期第1四半期	7.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	107,251	57,623	53.7
29年3月期	107,613	58,403	54.2

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 57,566百万円 29年3月期 58,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,500	0.3	1,200	△23.1	1,500	△19.4	1,100	△25.6	10.48
通期	70,000	1.8	1,700	18.6	2,200	17.0	1,700	20.0	16.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期1Q	111,452,494株	29年3月期	111,452,494株
30年3月期1Q	6,498,743株	29年3月期	6,497,453株
30年3月期1Q	104,953,751株	29年3月期1Q	104,966,153株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、[添付資料] 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で個人消費や企業収益が改善し、緩やかな回復基調が続きました。今後も緩やかに回復していくことが期待されますが、中国を始めとするアジア新興国の経済状況等により先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような中、山村グループでは当連結会計年度より3カ年の新中期経営計画をスタートさせました。「世界のYAMAMURAへ一心と技術を伝えたい」というビジョンを継承し、この3カ年で集大成とすべく、「グループ総合力の深化」と「研究開発の推進」という全体戦略、「パッケージング事業の収益力強化」と「ニューガラス事業の拡大」という事業戦略の下、グループ一体となってさらなる業績向上に取り組んでいく所存であります。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① ガラスびん関連事業

ガラスびん関連事業のセグメント売上高は、秦皇島方圓包装玻璃有限公司 (Yamamura Glass Qinhuangdao 以下、「YGQ」という。) が現地通貨では増収となったものの為替の影響により減収となりましたが、当社エンジニアリングカンパニーで海外向け売上が増加したこと、当社ガラスびんカンパニーがわずかに増収となったこともあり、12,923百万円 (前年同期比1.2%増) と増収となりました。セグメント利益は、YGQで炉修後に生産が安定しなかった影響による減益要因はありましたが、当社ガラスびんカンパニーの生産量増加による増益要因や修繕費等の固定費の削減があり、581百万円 (前年同期比14.5%増) と増益となりました。

② プラスチック容器関連事業

プラスチック容器関連事業では、前年5月に販売を開始したディープグリップボトル (把手とボトルが一体成型された大容量4.0Lペットボトル) が安定的に推移したこともあり、セグメント売上高は1,642百万円 (前年同期比2.2%増) と増収となりました。セグメント利益は、原料価格を抑えることができたことに加え、海外子会社の損益改善も寄与し、220百万円 (前年同期比31.2%増) と増益となりました。

③ 物流関連事業

物流関連事業では、セグメント売上高は新規事業の立ち上げや既存事業の物量増等により2,536百万円 (前年同期比10.9%増) と増収となりました。セグメント利益は、作業効率の改善やさらなるコスト削減に努めましたが、人材確保のための費用増や時給単価アップ等の労務費増があり、△11百万円 (前年同期は△8百万円) と減益となりました。

④ ニューガラス関連事業

ニューガラス関連事業では、当社ニューガラスカンパニーの出荷は堅調に推移しましたが、山村フォトニクス株式会社の主力製品である光通信用キャップ部品の出荷が減少したためセグメント売上高は1,023百万円 (前年同期比22.5%減) と減収となりました。セグメント利益は、製造経費の削減に努めましたが売上減少による損益悪化の影響が大きく、87百万円 (前年同期比36.7%減) と減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は18,126百万円 (前年同期比0.8%増) と増収となりました。連結営業利益は947百万円 (前年同期比10.0%増) と増益となり、持分法による投資利益は306百万円 (前年同期比18.0%増) となったため、連結経常利益は1,195百万円 (前年同期比19.5%増) と増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失に支払補償金278百万円を計上した結果、667百万円 (前年同期比15.1%減) と減益となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期における第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、平成29年5月11日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,374	13,856
受取手形及び売掛金	19,959	21,930
商品及び製品	6,680	6,845
仕掛品	380	298
原材料及び貯蔵品	2,873	2,823
その他	1,686	1,279
貸倒引当金	△85	△83
流動資産合計	45,869	46,950
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,301	8,132
機械装置及び運搬具（純額）	11,830	11,310
工具、器具及び備品（純額）	764	754
土地	10,333	10,333
建設仮勘定	420	500
有形固定資産合計	31,651	31,031
無形固定資産		
のれん	1,569	1,491
その他	1,693	1,657
無形固定資産合計	3,263	3,149
投資その他の資産		
投資有価証券	4,805	4,749
関係会社株式	20,493	19,894
退職給付に係る資産	1,013	983
その他	543	517
貸倒引当金	△26	△25
投資その他の資産合計	26,828	26,119
固定資産合計	61,743	60,301
資産合計	107,613	107,251

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,962	8,478
短期借入金	10,335	12,044
1年内償還予定の社債	100	100
未払法人税等	762	248
賞与引当金	617	337
役員賞与引当金	15	6
その他	5,911	5,706
流動負債合計	25,705	26,923
固定負債		
社債	1,700	1,650
長期借入金	15,032	14,409
リース債務	1,222	1,148
環境対策引当金	38	38
退職給付に係る負債	3,138	3,152
繰延税金負債	1,670	1,607
その他	701	696
固定負債合計	23,504	22,704
負債合計	49,209	49,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	16,697	16,697
利益剰余金	28,528	28,934
自己株式	△1,232	△1,232
株主資本合計	58,068	58,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,794	1,753
繰延ヘッジ損益	△75	△163
為替換算調整勘定	△709	△1,818
退職給付に係る調整累計額	△732	△679
その他の包括利益累計額合計	276	△907
非支配株主持分	58	57
純資産合計	58,403	57,623
負債純資産合計	107,613	107,251

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	17,988	18,126
売上原価	14,108	14,158
売上総利益	3,879	3,967
販売費及び一般管理費	3,018	3,019
営業利益	861	947
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	58	46
持分法による投資利益	259	306
その他	109	150
営業外収益合計	428	505
営業外費用		
支払利息	118	124
租税公課	28	29
その他	142	103
営業外費用合計	289	257
経常利益	1,000	1,195
特別利益		
固定資産売却益	5	5
特別利益合計	5	5
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産廃棄損	2	1
支払補償金	—	278
特別損失合計	2	281
税金等調整前四半期純利益	1,003	919
法人税、住民税及び事業税	196	230
法人税等調整額	9	19
法人税等合計	206	249
四半期純利益	796	669
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	786	667

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	796	669
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	△40
繰延ヘッジ損益	30	△87
為替換算調整勘定	△279	△153
退職給付に係る調整額	7	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△830	△904
その他の包括利益合計	△1,042	△1,183
四半期包括利益	△246	△513
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△235	△516
非支配株主に係る四半期包括利益	△11	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,772	1,607	2,287	1,321	17,988	—	17,988
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	125	2,609	2	2,738	△2,738	—
計	12,772	1,733	4,896	1,323	20,726	△2,738	17,988
セグメント利益 又は損失 (△)	507	168	△8	138	806	54	861

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額54百万円には、セグメント間取引消去等29百万円、その他の調整24百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性がないため記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,923	1,642	2,536	1,023	18,126	—	18,126
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	130	2,702	1	2,836	△2,836	—
計	12,925	1,773	5,238	1,025	20,962	△2,836	18,126
セグメント利益 又は損失 (△)	581	220	△11	87	878	69	947

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額69百万円には、セグメント間取引消去等27百万円、その他の調整42百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性がないため記載を省略しております。